

千葉県感染症発生動向調査情報

2018年 第3週 (1/15-1/21) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	3週	2週	1週	52週
小児科	18	18	16	15
眼科	5	5	5	4
インフルエンザ*	28	28	26	23
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	注意報	千葉県				千葉県
			1/15-1/21	1/8-1/14	1/1-1/7	12/25-12/31	1/8-1/14
			3週	2週	1週	52週	2週
小児科	RSウイルス感染症		3 0.17	10 0.56	1 0.06	1 0.07	44 0.33
	咽頭結膜熱		0 0.00	3 0.17	4 0.25	2 0.13	34 0.25
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		37 2.06	39 2.17	20 1.25	20 1.33	343 2.54
	感染性胃腸炎		136 7.56	118 6.56	71 4.44	105 7.00	747 5.53
	水痘		1 0.06	4 0.22	2 0.13	0 0.00	36 0.27
	手足口病		5 0.28	2 0.11	2 0.13	5 0.33	13 0.10
	伝染性紅斑		1 0.06	1 0.06	0 0.00	0 0.00	6 0.04
	突発性発しん		9 0.50	9 0.50	2 0.13	4 0.27	41 0.30
	ヘルパンギーナ		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.01
	流行性耳下腺炎		5 0.28	5 0.28	4 0.25	1 0.07	20 0.15
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)	◎★★★	1,432 51.14	669 23.89	240 9.23	285 12.39	6,304 29.46
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.25	0 0.00
	流行性角結膜炎	○	5 1.00	2 0.40	3 0.60	1 0.25	23 0.66
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.11
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 1.00	0 0.00
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

★★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(6件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	30歳代	IGRA検査	侵襲性肺炎球菌感染症	女性	70歳代	病原体の検出
A型肝炎	男性	50歳代	血清IgM抗体の検出	梅毒	男性	40歳代	血清抗体の検出
ジアルジア症	男性	50歳代	病原体の検出	梅毒	男性	60歳代	血清抗体の検出

・第3週は、結核1件(10)、A型肝炎1件(1)、ジアルジア症1件(1)、侵襲性肺炎球菌感染症1件(3)、梅毒2件(4)の報告があった。

※ ()内は2018年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第3週のコメント

＜インフルエンザ＞前週より大幅に増加し51.14となり、流行発生警報開始基準値を上回った。過去10年の同時期と比べると最多。

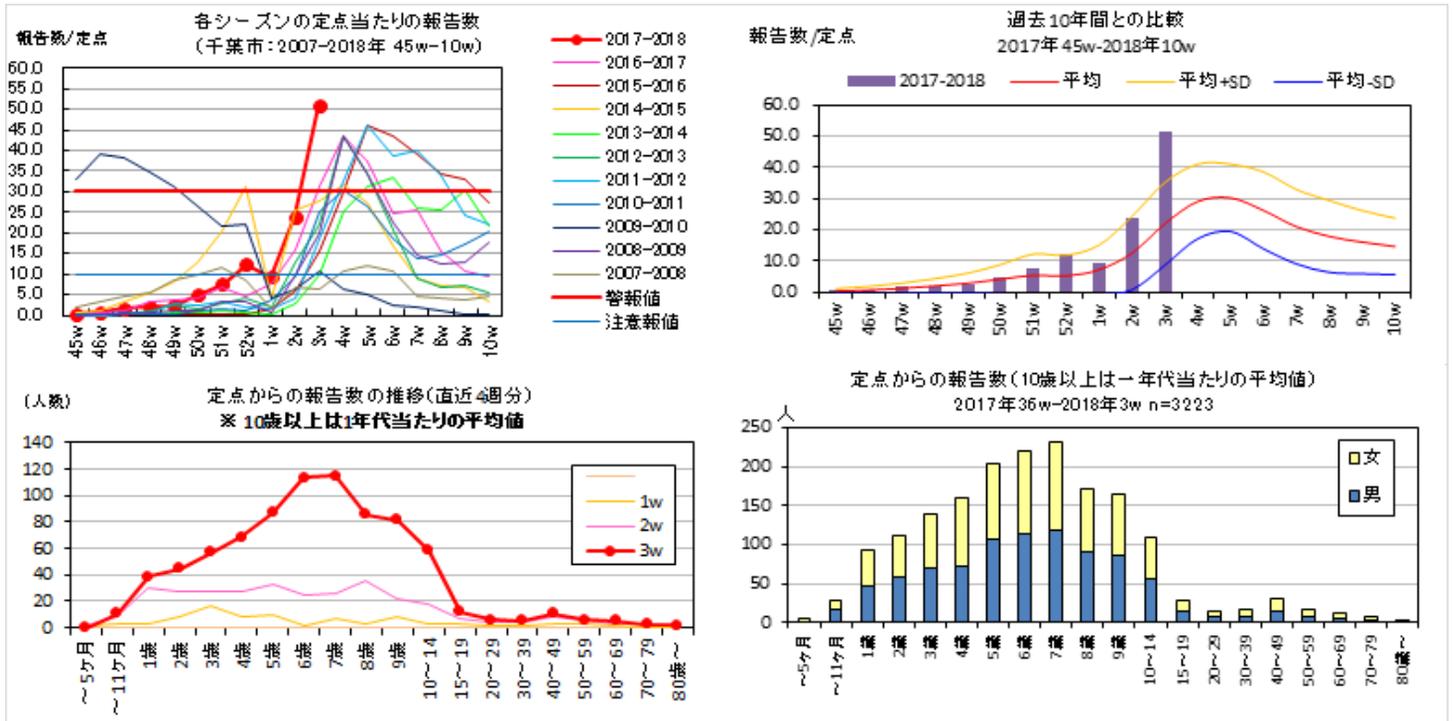
＜流行性角結膜炎＞前週より増加し1.00となった。過去10年の同時期と比べると最多。

■ トピック ■

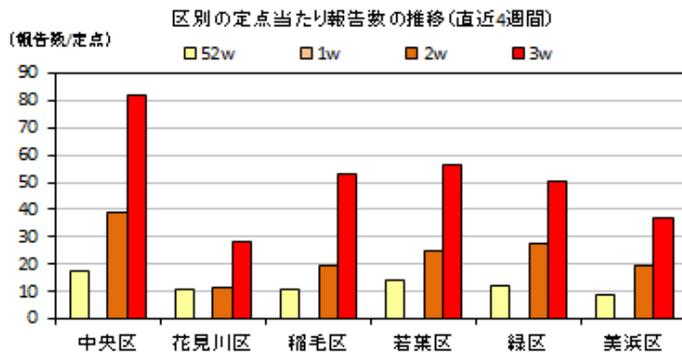
<インフルエンザ>

全国レベルの第2週は流行発生注意報基準値(10.0/定点)を上回ったままで、過去10年の同時期と比べると2015年に次いで多くなっています。都道府県別では宮崎県、大分県、福岡県の順で多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べると多めとなっています。

千葉市の2018年第3週は前週より更に大幅に増加し51.14となり、流行発生警報開始基準値(30.0/定点)を上回りました。定点当たりの報告数が50を上回るのは2005年第7週(60.11/定点)以来13年ぶりで、過去10年の同時期と比べると最多となっています。区別の発生状況は、花見川区以外の全区で流行発生警報開始基準値を上回っており、中央区(81.6/定点)で最多で、同区の10歳代前半で最多、一年代当たりでは8歳で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2017年第36週から2018年第3週までの累積報告数(n=3223)によると、性別では男性が49.5%(1595名)、女性が50.5%(1628名)で、年齢階級別の一年代当たりでは7歳(7.2%:231名)、6歳(6.8%:219名)、5歳(6.4%:205名)の順に多くっており、20歳未満は全体の68.7%、10歳未満は全体の47.5%となっています。



	第3週	市全体	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区
基準値超過		警報	警報	注意報	警報	警報	警報	警報
過去10年の同時期との比較		非常に多い	非常に多い	とても多い	非常に多い	非常に多い	非常に多い	多い
昨年の同時期との比較		多い	多い	多い	多い	多い	多い	少ない



<流行性角結膜炎>

全国レベルの第2週は、過去10年の同時期と比べるととても少なくなっています。都道府県別では兵庫県、福井県及び青森県の順で多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べると少なくなっています。千葉市の第3週は前週より増加し1.00となり、過去10年の同時期と比べると最多となっています。区別の発生状況は、美浜区(4.0/定点)で最多で、同区の7歳及び30歳代から50歳代で発生報告がありました。2018年第1週から第3週までの累積報告数(n=10)によると、性別では男性が40.0%(4名)、女性が60.0%(6名)で、年齢階級別では30歳代及び40歳代(共に20.0%:2名)で多くなっています。

